

笠間日動美術館 2024(令和6)年度 特別展

岩合光昭写真展 **ねこづくし** 2024年3月16日(日)~5月19日(日)

岩合光昭(1950年 東京生)は、世界各地を巡る動物写真家として知られています。大自然を生き抜く動物たちの美しく精悍な姿の表現により、国内外で高い評価を得る一方、身近な猫たちの姿をとらえた愛くるしい写真作品は、観る人に心の安らぎをもたらします。この度は人々の暮らしとともに生きる猫たちの日常をご覧ください。

協力 岩合写真事務所/企画制作 M&M COLOR



撮影地：青島、愛媛県大洲市 ©Mitsuaki Iwago

異世界を旅する画家たち 2024年5月25日(土)~7月15日(月)

絵画は時空を超えて存在する異世界への扉。
画家たちが創造する不思議な世界へご案内します。

出品予定作家

小木曾誠、斎藤 将、佐藤泰生、佐藤みちる、原 太一、
開 光市、松本亮平、美馬匠吾 渡辺香奈 ほか



原太一「Once upon a time」2022年
笠間日動美術館蔵

Art & Mystery ウキウキ謎解き!トリックアート!!

同時開催 第8回こども絵画コンクール

2024年7月20日(日)~9月16日(月)

絵画や彫刻、ガラスアートなどの作品に仕掛けられた“謎”は、描かれたモチーフや素材に隠されています。トリックアートのコーナーでは印象派の絵の世界に入って撮影ができます。「第8回こども絵画コンクール」とあわせてお楽しみください。

出品予定作家

奥谷 博、金森宰司、絹谷幸二、佐藤泰生、田村能里子、
開 光市、松井ヨシアキ、安元亮佑 ほか

トリックアート作品提供 (株)エス・デー **Trick Art**®



トリックアート「ゴッホとカフェで」

フォーヴ・シヨック -フランス そして日本へ-

2024年9月21日(土)～12月15日(日) 茨城県アフターデスティネーションキャンペーン期間

20世紀初頭のヨーロッパでは相次いで革新的な美術運動が起こりました。そのなかでも最初の運動である「フォーヴィスム」(野獣派)は、アンリ・マティスらが中心となり強い原色の色彩と奔放な筆触で作品を彩りました。またフォーヴィスムは、日本の画家たちに大きな衝撃を与え、その影響は1910年代から1930年代において顕著にみられます。

本展では、所蔵館及び個人コレクターに出品協力をいただき、フォーヴィスムをキーワードにフランスと日本の画家による作品をご紹介します。

出品予定作家

ジョルジュ・ルオー、アンリ・マティス、モーリス・ド・ヴラマンク、キース・ヴァン・ドンゲン、ラウル・デュフィ、アルベール・マルケ、里見勝蔵、佐伯祐三、児島善三郎 ほか



アンリ・マティス「ジャズ(No.4 白象の悪夢)」1947年
笠間日動美術館蔵

日本の美 再発見！ サブタイトル未定

2025年1月2日(木)～3月9日(日)

岸田劉生、熊谷守一、小杉放庵らの書画、また近代洋画の傑作がそろそろ山岡コレクションから日本の歴史画を紹介いたします。第二会場では、茅葺屋根民家を追い続け、2023年に急逝された柳下征史の写真を展示。これらの作品から古き良き日本の美の世界をあらためてご覧いただくとするものです。

出品予定作家

ジョルジュ・ビゴー、岸田劉生、熊谷守一、五姓田義松、二世五姓田芳柳、小杉放庵、酒井三良、藤島武二 ほか



二世五姓田芳柳「上杉景勝一笑図」1890年
笠間日動美術館蔵

ご取材・ご紹介などのご協力を賜りますようお願い申し上げます。
都合により変更になる場合がございます。詳しくはお問合せください。

(公財)日動美術財団 〒104-0061 東京都中央区銀座 5-3-16 日動画廊内 電話 03-3571-2553

学芸部長 金澤 敦子 kanazawa@nichido-garo.co.jp

(公財)日動美術財団 笠間日動美術館 〒309-1611 茨城県笠間市笠間 978-4

電話 0296-72-2160 FAX0296-72-5655

学芸部 川崎みなみ m.kawasaki0373@gmail.com 長谷川 翠 hasegawamidori310@gmail.com